

年度末報告書（実行団体）

- 提出日 : 2022年4月19日
- 事業名 : 山梨県下における包括的なフードバンク支援体制構築事業
- 資金分配団体 : 公益財団法人パブリックリソース財団
- 実行団体 : 認定NPO法人フードバンク山梨

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
新たな中核的フードバンク（山梨フードバンクセンター）が設置され、県内ネットワークのハブとなっている	①当法人以外の連携・地域フードバンクの数	15 団体	2024年3月末	6 団体	1
	②山梨FBセンター（拠点施設）の設置・運営	設立し、運営を円滑に継続	2024年3月末	2022年10月末竣工予定	3
	③事務局・有給職員	12 人	2024年3月末	12 人	1
	④研修（テーマ別）の実施回数	2 回／年×4 テーマ＝8 回／年	2024年3月末	3 回、全て Zoom ミーティングで実施	3
	⑤フードバンクITシステムの構築	構築・運用開始	2024年3月末	契約後、試験運用中	1

地域ネットワークが形成され、構成団体との連携・協議が行われている	①山梨フードバンク・ネットワークに参加する市町村数	子どもの貧困対策連携協定・締結市町村：20	2024年3月末	11市町村	3
	②ネットワークに参加する社協の数	社会福祉協議会：20	2024年3月末	15社協	3
	③ネットワークに参加する企業・団体NPO法人等の数	企業、団体、NPO等：30	2024年3月末	民間16団体	2
	④ネットワーク会議の開催回数	8回／年（2回（部会毎）／年×4部会）	2024年3月末	全体会3回、部門会2回	2
食品・物品を届けられる地域が拡大し、支援できる世帯が増え、供給量が増加	①当法人以外の連携・地域フードバンクの数	15団体	2024年3月末	6団体	1
	②子どもの貧困対策連携協定・締結市町村数	20市町村	2024年3月末	11市町村	3
	③人材育成研修（地域FB運営、相談支援等）	8回（4テーマ×2回／年）	2024年3月末	2回	3
	④フードバンクITシステムの構築	構築・運用開始	2024年3月末	テスト運用中	1

地域ネットワークに自治体の福祉課等や社会福祉協議会等が含まれ、連携している	(No.2の指標(行政関係)と同じ)	(No.2の①、②と同じ)	2024年3月末	11市町村15社協	3
中核的フードバンク(山梨フードバンクセンター)の食品・物品の調達量の増加(含・食品ロス削減量の増加)	①大口企業からの寄贈量(パレット単位)	224トン/年	2024年3月末	65トン(7月から)	1
	②個人・団体・一般企業からの寄贈量	176トン/年	2024年3月末	79トン(7月から)	1
中核的フードバンク、及び連携する地域フードバンクにおける資金調達額の増加	資金調達額(合算)	100,000千円(2023年度)	2024年3月末	5300万円	2

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
3.課題がある
2.アウトカムの状況
A:変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値

3. 活動に関する報告

食料支援、活動を社会へ発信、地域フードバンク団体育成、企業団体との連携、zoom 研修など幅広く活動できた。新たに「つながるロッカープロジェクト」を実施し、大きな注目を得た。特にイベント時にはプレスリリースを行い、報道を通して新たな支援者企業団体とつながる循環が出てきた。また、企業からは社員の社会貢献活動を始めたい、SDG s の取り組みとして当法人への支援や関わりを持ちたい等の話が増えている。活動に対する地域社会からの期待が大きい。

活動一覧 (①会議・②訪問・③研修・④食料支援)

①会議 (説明会ではプレスリリースを行い、広く社会に発信)

毎週水曜日 定例会議 7月から40回実施
8月 4日 「地域の生活困窮者を支援するための」説明会
8月11日 記者会見：「乳幼児応援プロジェクト」調査報告とネットワーク設立
9月29日 ネットワーク設立とセンター建設に向けた説明会
2月18日 新山梨フードバンクセンター建設のための説明会 (Zoom)
2月18日 クラウドファンディングスタート (GoodMorning)

②行政企業団体等訪問 (経営トップへ活動への理解と協力を依頼)

11月10日 山梨県議会 (議長、**要望書提出**)
1月 6日 山梨県防災局 防災危機管理課 (課長、災害時の協定締結について)
1月19日 富士急行株式会社 (代表取締役社長、御礼・寄付・**県人会紹介**)
2月 7日 山梨大学 (副学長、学生への食料支援・寄付)
2月21日 株式会社はくばく (代表取締役社長、御礼・寄付・寄贈)
2月22日 株式会社山梨中央銀行 (頭取、御礼・**県内団体の紹介**)

③研修 (全て Zoom開催)

2月10日 JANPIA ファンドレイジング基礎講座
3月 9日 PR TIMES 初回利用勉強会 (効果的なプレスリリース作成)
3月11日 農林水産省 フードバンク支援緊急対策事業講習会 (食品寄贈量増加)

④延5062世帯へ食料支援：地域フードバンク (FB)主催の支援増加

7月26日～ 第13回フードバンクこども支援プロジェクト① (649世帯)
7月29日 山梨県立大学生支援 (学生自治会主催、324人)
8月26日～ 第13回フードバンクこども支援プロジェクト② (794世帯)
9月14日 ユニタス日本語学校留学生支援 (140人)
9月21日 山梨大学生支援 (200人)
10月16日 第6弾つながるスマイルプロジェクト (地域FB団体4会場、95世帯)
11月26日 乳幼児応援プロジェクト (196世帯)
12月17日 山梨県立大学生支援 (学生自治会主催、300人)
12月18日他 第7弾つながるスマイルプロジェクト (地域FB団体6会場、242世帯)
12月20日～ 第14回フードバンクこども支援プロジェクト (816世帯)
1月19日 ユニタス日本語学校留学生支援 (120人)
1月20日～ コロナ緊急フードバンクこども支援プロジェクト (817世帯)
1月21日 地域FB：富士の緑とフードサポート食品配布 (独自、64世帯)
2月 1日 地域FB：協力団体「ふじざくら」食品配布 (独自、20世帯)
2月 2日 地域FB：子どもサポートやまなし 緊急支援 (独自、6世帯)
2月16日 山梨大学生支援 (132人)
2月28日 地域FB：耕運院 つる食堂 つるギフト (独自、100人)
3月12～13日 新「つながるロッカープロジェクト」 (24世帯)
3月18日 地域FB：協力団体「ふじざくら」食品配布 (独自、23世帯)
3月26日 地域FB：富士の緑とフードサポート食品配布 (独自、春休み応援)



食料支援

コロナ禍緊急食料支援

支援を求める声が多く、これまで対象と考えられなかった学生など、幅広い困窮世帯への支援を行った。

- ・「フードバンクこども支援プロジェクト」対象世帯への支援を年3回実施。
- ・コロナ感染症拡大の影響を受けた、大学生・留学生対象の食料支援を実施。山梨大学、ユニタス日本語学校とは連携協定を締結の上、支援した。

7～9月まで

コロナ禍緊急食料支援(2107世帯)

フードバンクこども支援プロジェクト
7/26-30 (649世帯) 8/16-20 (794世帯)



9/21 山梨大学生支援 (200人)

9/14 留学生支援 (ユニタス日本語学校 140人)



7/29 山梨県立大学生支援 (324人)



12～3月まで

コロナ禍緊急食料支援 (2209世帯)

フードバンクこども支援プロジェクト
12/20～ (816世帯) 1/20～ (817世帯)



12/17 山梨県立大学生支援 (300人)

1/19 留学生支援 (ユニタス日本語学校120人)

2/16 山梨大学生支援 (132人)



7月29日、12月17日 大学生支援 山梨県立大学

・7月に飯田キャンパス学生自治会主催で実施。80人分の食品依頼に対し、当日は324人を超える学生が支援を希望した。夏の支援で学生のニーズが高かったため、池田キャンパスも含めて12月に全学で実施。300人分の食料を提供した。

第2回 食糧支援

2021年12月17日(金) 12:00～17:00

【会場】
山梨県立大学飯田キャンパス(金澤学生館)
山梨県立大学池田キャンパス(学生部対面)

【注意事項】
・マイバッグを持参ください
・搬入搬出のため足場高はご注意ください
・コロナ感染対策のため、マスクを着用し会場ください
・会場が混雑いたしますので早めにお越しください

主催 山梨県立大学学生自治会 飯田キャンパス学生自治会
協賛 山梨県立大学学生自治会 池田キャンパス学生自治会
後援 山梨県立大学学生自治会 池田キャンパス学生自治会
問合せ先 山梨県立大学学生自治会 池田キャンパス学生自治会

学生作成チラシ



学生による支援品の積み込み



支援品全量

活動を社会へ発信

8月4日「地域の生活困窮者を支援するための」説明会開催（10団体参加）

- ・本事業の説明と地域フードバンクの募集を兼ねた説明会を開催。

8月11日「乳幼児応援プロジェクト」アンケート結果について記者発表

・コロナ禍における乳幼児のいる世帯の厳しい現状を報告。『この度は粉ミルクや食材の支援をありがとうございました。（中略）私は一日一食たべ、お金を浮かせて粉ミルクやおむつにお金を回していますが、このままでは、私自身がちゃんと子育てをしていけるのか不安でたまりません』（利用者の声）

・合わせて「山梨フードバンクネットワーク」設立を案内。コロナ禍での生活困窮者の急増に対応し、県内全域での食の支援を実施するための提案。本年度休眠預金を原資とした「中核的フードバンクによる地域包括支援体制」の助成事業に応募し、全国5か所の受託団体の一つに選出されたことを報告。

9月29日「山梨フードバンク・ネットワーク」設立と「山梨フードバンクセンター」建設に向けた説明会

・本日ネットワークを設立し、センター建設、地域フードバンクとしての活動となる「つながるスマイルプロジェクト」実施について案内。10月に4会場での実施を公表。報道機関多数。*参加団体企業：16、オブザーバー3。

令和3年8月4日 「地域の生活困窮者を支援するための」説明会
山梨フードバンク・ネットワーク創立

事前に電話や訪問により事業説明、中核的フードバンクとして活動を希望する団体で、これまでの活動の拡大、何かできることとした企業などが参加、各団体の現状や希望等の意見を交換。




出席団体
①協力団体ふじざくら ②にららん小食堂 ③地域総合子ども家庭支援センターチヨ ④NPO法人こどもサポートたまし ⑤NPO法人たましライフサポート ⑥一般社団法人暮らしの基盤事業団 ⑦協賛院（つる食堂） ⑧NPO法人富士の緑とフードサポート ⑨ゆうゆうゆう ⑩株式会社メディアブレイン

日時 令和3年8月4日14時～ 場所 中央市ひまわり支所 報道 山梨日日新聞

山梨日日新聞
食料支援へ連携網
フードバンク 地域に整備

山梨日日新聞

山梨NPO法人
フードバンク山梨



9月29日 「山梨フードバンク・ネットワーク」設立と「山梨フードバンクセンター」建設に向けた説明会



出席団体
①協力団体ふじざくら ②地域総合子ども家庭支援センターチヨ ③協賛院（つる食堂） ④NPO法人たましライフサポート ⑤NPO法人こどもサポートたまし ⑥メディア社 ⑦青森北ソーシークラブ ⑧株式会社メディアブレイン ⑨NTT東日本山梨支店 ⑩株式会社エスディエス ⑪一般社団法人暮らしの基盤事業団

Zoom参加
①にららん小食堂 ②協賛院（つる食堂）学生スタッフ ③NPO法人富士の緑とフードサポート ④小森製菓株式会社 ⑤山梨県高等学校PTA連合会

オブザーバー（Zoom参加）
①山梨県県民生活部県民安全協働課 ②山梨県弁護士会 ③パブリックリソース財団

資料送付
①一般社団法人暮らしの基盤事業団

報道：NHK中核、テレビ山梨、山梨 日日新聞、朝日新聞、読売新聞、産経新聞、山梨日日新聞

山梨NPO法人
フードバンク山梨

地域フードバンク団体育成（食品配布会場として2回実施。その後、独自に活動を広げる団体も出てきた。）

10月16日コロナ禍緊急食料応援～つながるスマイルプロジェクト～第6弾

・これまでフードバンク山梨独自で行ってきた支援を全県に拡大するために、地域フードバンク4会場で実施。今回手を挙げた4団体にとっては、初めての取り組みである。実際に行動することで、効果や課題が可視化された。



コロナ禍緊急食料応援
～つながるスマイルプロジェクト～
第6弾

コロナ禍の影響で生活が苦しくなったみなさんに食料を無料で配布いたします。
「困ったときはお互いさまです」
下記に該当する方は、ぜひお申込みください。

対象（いずれかを受給・利用されている世帯）
・就学援助（卒業保護） ・児童扶養手当
・緊急小口資金 ・総合支援資金 ・住宅確保給付金

お申込方法
QRコードからお申込ください。
※お申込みできるのは10月8日（金）までです。
※申込みは2回限りです。
申込締め切り **10月8日（金）**

食品配布日
2021年 **10月16日（土）**
※来3食・米・油・乾麺・調味料・缶詰
飲料・菓子など（およそ12食）

配布場所・時間

●地域総合子ども家庭支援センターテラ 甲府市伊勢4-39-19 母子生活支援施設 10:00～16:00（時間順）	●耕雲院・つる食堂 都留市夏狩1884 10:00～16:00（時間順）
●協力団体ふじざくら 南都留郡富士河口湖町船津 14:00～16:00（時間順）	●にららん本町の家 韮崎市本町4-3-7 17:00～19:00（時間順）

※各団体の地図は裏面をご覧ください。
・当日はマスク着用をお願いします。
・予約時間に遅れる。または、来れなくなった場合は必ずご連絡ください。

認定NPO法人 **フードバンク山梨**
連絡先 **055-298-4844**
平日 9:30～17:30



地域総合子ども家庭支援センター・テラ
母子生活支援施設
甲府市伊勢4-39-19
055-222-8012
▶10:00～16:00

耕雲院・つる食堂
都留市夏狩1884
0554-43-2593
▶10:00～16:00

協力団体ふじざくら
南都留郡富士河口湖町船津
3371(あぶり亭)
0555-72-6340
▶14:00～16:00

にららん本町の家
韮崎市本町4-3-7
090-3068-8479(内藤)
▶17:00～19:00

地図: Googleマップ

10月16日 初 地域フードバンクの4会場で95世帯に食品配布

地域総合子ども家庭支援センター・テラ (30世帯、甲府市)



にららん食堂 (30世帯、韮崎市)




コロナ禍緊急食料応援
～つながるスマイルプロジェクト～
第6弾

コロナ禍の影響で生活が苦しくなったみなさんに食料を無料で配布いたします。
「困ったときはお互いさまです」
下記に該当する方は、ぜひお申込みください。

対象（いずれかを受給・利用されている世帯）
・就学援助（卒業保護） ・児童扶養手当
・緊急小口資金 ・総合支援資金 ・住宅確保給付金

お申込方法
QRコードからお申込ください。
※お申込みできるのは10月8日（金）までです。
※申込みは2回限りです。
申込締め切り **10月8日（金）**

食品配布日
2021年 **10月16日（土）**
※来3食・米・油・乾麺・調味料・缶詰
飲料・菓子など（およそ12食）

配布場所・時間

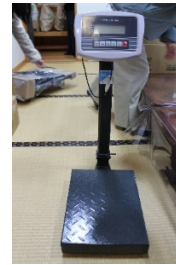
●地域総合子ども家庭支援センターテラ 甲府市伊勢4-39-19 母子生活支援施設 10:00～16:00（時間順）	●耕雲院・つる食堂 都留市夏狩1884 10:00～16:00（時間順）
●協力団体ふじざくら 南都留郡富士河口湖町船津 14:00～16:00（時間順）	●にららん本町の家 韮崎市本町4-3-7 17:00～19:00（時間順）

※各団体の地図は裏面をご覧ください。
・当日はマスク着用をお願いします。
・予約時間に遅れる。または、来れなくなった場合は必ずご連絡ください。

認定NPO法人 **フードバンク山梨**
連絡先 **055-298-4844**
平日 9:30～17:30

12月18日 コロナ禍緊急食料応援～つながるスマイルプロジェクト～第7弾

地域フードバンク会場での配布2回目。前回より1団体増え5会場で実施。台車・秤も提供。



QRコード付きチラシ

耕雲院・つる食堂

1人分の支援品

提供した秤

提供した台車



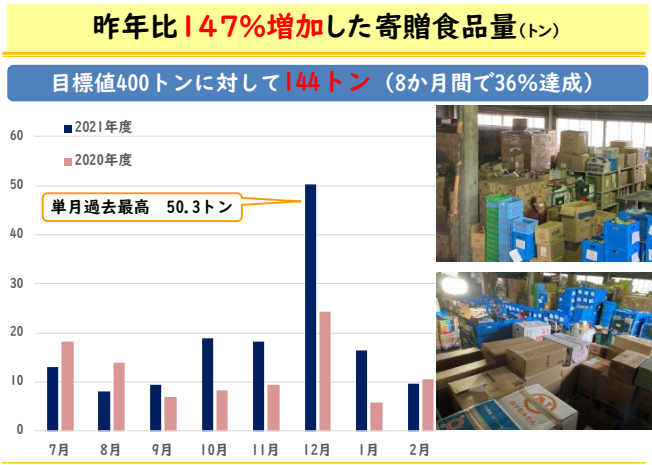
地域フードバンク独自支援:「協力団体ふじざくら」

3月18日、山梨県河口湖町にて、独自に困窮世帯を把握し連絡調整して、23世帯に手渡しした。当法人からの食料品提供以外にも、パン屋さん等、地域社会とのネットワークで食品を調達しており、地域フードバンク本来の姿に近づいている。

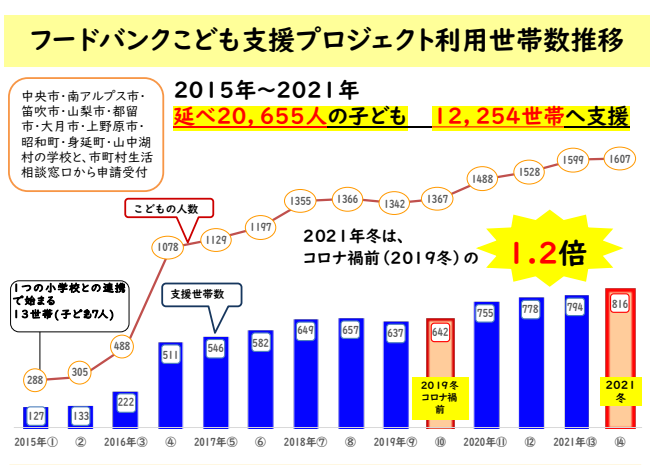


食品寄贈量の大幅な増加と支援世帯数

過去最高の寄贈量となった一方、支援世帯数は高水準が続いており、活動の継続・拡充に取り組んでいく。



11 認定NPO法人 フードバンク山梨



12 認定NPO法人 フードバンク山梨

寄付活動 活動への寄付とセンター建設寄付

企業向け説明会資料、チラシを作成し、企業訪問やクラウドファンディングを行った。

「新山梨フードバンクセンター建設プロジェクト」寄付の現状

コロナ禍で急増する 困窮者と子ども達を救いたい!

必要資金 3500万円

口座入金 1400万円 (40%)

GoodMorning 172万円 (17%)

※目標金額1千万円、5月8日迄

◆寄付計画◆
 目標額 3500万円
 目標達成率 40%
 目標達成まで残り 2100万円

◆建設費用◆
 建築費 7500万円
 設備費 1500万円

GoodMorningクラウドファンディング <https://camp-fire.jp/projects/view/542669>

GoodMorning クラウドファンディング・スタート

未来の子ども達の食を支えるために 新・山梨フードバンクセンター建設のための説明会

山梨の子どもたちの食を支えるために 3500万円

認定NPO法人フードバンク山梨

新たな倉庫・活動スペースが必要です

- 14年目を迎えるフードバンク山梨の活動は、コロナ感染症拡大に伴い支援数が例年の2倍以上。
- 更に食品を保管する場所やボランティアさんの作業スペースも限界に。

利用者からの感謝の声

今日、送って頂いた食品で久しぶりにまもろ夕食を口にするのがとても嬉しくて涙が止まりません。みんなの方のおかげで子供たちの命を繋いでくださりました。本当にありがとうございます。

2021年5月～現在 南アルプス市小笠原の倉庫で活動継続

センター内部と資金調達

新・山梨フードバンクセンター(平間町)

目標額 3,500万円

現在集まった金額 1,400万円

目標達成率 40%

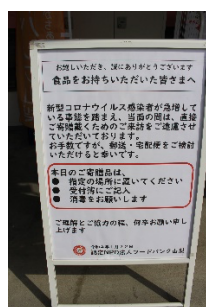
統合型フードバンク情報共有システムの開発

当法人のホームページ制作・メンテナンスを委託している(株)メディア・ブレインに発注して、「支援者・寄贈品・当事者情報管理システム」を契約し、テスト版を運用している。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

①感染防止の取り組み:食品寄贈の受付

感染者急増時には持ち込みをご遠慮いただき、ホームページ等で配送での寄贈を呼びかけた。持ち込み希望者には、事務所前に無人での対応を掲示した。おおむね好評であった。



② フードバンク初、「つながるロッカープロジェクト」～ロッカーを介した食品受取システム～

非接触型で食品の受け渡しができる「つながるロッカープロジェクト」を試験的に実施した。事務所前にロッカーを設置し、24世帯が取りに来た。金曜日に食品やおむつなどをロッカーに入れて施錠。土日の都合の良い時間に取りに来る。ダイヤル式のカギなので、必要に応じて変更できる。今回、フードバンク団体では初めての取組みで県内2社から報道された。今後は、地域フードバンク団体へも提案し拡充したい。*4月24日、乳幼児がいる世帯への支援「乳幼児応援プロジェクト」で活用予定。

新「つながるロッカープロジェクト」3/12, 13日(24世帯)

24時間食品を受け取れます!

休日や夜間に食品を受け取れる「つながるロッカープロジェクト」。無人のロッカーのため、新型コロナウイルスの感染を防止しながら食品を受け取れる

2022年(令和4年)3月16日 水曜日

山梨日報新聞

食品ロッカーの利用 便利に

「つながるロッカープロジェクト」が、無人のロッカーを介して、24時間食品を受け取れるシステムを導入した。県内2社から報道された。今後は、地域フードバンク団体へも提案し拡充したい。

山梨日報新聞

「つながるロッカープロジェクト」が、無人のロッカーを介して、24時間食品を受け取れるシステムを導入した。県内2社から報道された。今後は、地域フードバンク団体へも提案し拡充したい。

山梨日報新聞

「つながるロッカープロジェクト」が、無人のロッカーを介して、24時間食品を受け取れるシステムを導入した。県内2社から報道された。今後は、地域フードバンク団体へも提案し拡充したい。



③ ボランティア参加

企業から SDGs の取り組み推進や、市民からの活動参加希望が増加。三密を避けるため、全て事前申し込み制とし、上限人数を設けて対応した。* 感染者数増加の為、年度末予定のボランティア部会を 4 月 7 日に開催。活動報告、感謝状をお渡しした。



③広報に関する報告

シンボルマークの使用状況

- 自団体のウェブサイトに表示している 広報制作物に表示している
 報告書に表示している イベント実施時に表示している その他
 → 「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：備品（椅子）に張り付け



広報

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

2021/08/11	NHK 甲府	記者発表：乳幼児のいる困窮世帯へのアンケート報告、山梨フードバンク・ネットワークについて
2021/08/11	山梨テレビ(YBS)	記者発表：乳幼児のいる困窮世帯へのアンケート報告、山梨フードバンク・ネットワークについて
2021/08/11	テレビ山梨(UTY)	記者発表：乳幼児のいる困窮世帯へのアンケート報告、山梨フードバンク・ネットワークについて
2021/09/15	YBS,UTY 等	県議会議長要望書提出
2021/09/15	テレビ山梨(UTY)	株式会社 NTT 東日本山梨支店 防災缶詰 2070 個寄贈
2021/09/16	テレビ山梨(UTY)	株式会社クロスフォー贈呈式
2021/09/29	テレビ山梨(UTY)	山梨フードバンク・ネットワーク設立、センター建設の説明会
2021/09/30	山梨日日新聞	山梨フードバンク・ネットワーク設立、センター建設の説明会
2021/09/30	朝日新聞	山梨フードバンク・ネットワーク設立、センター建設の説明会

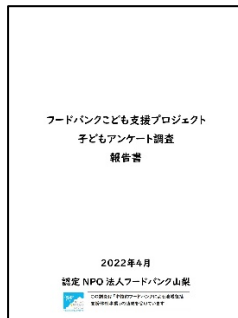
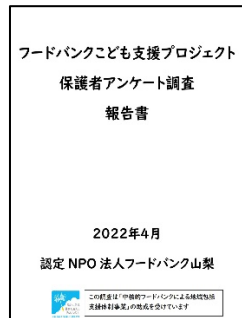
2021/09/30	産経新聞	山梨フードバンク・ネットワーク設立、センター建設の説明会
2021/09/30	読売新聞	山梨フードバンク・ネットワーク設立、センター建設の説明会
2021/09/30	NHK 甲府	山梨フードバンク・ネットワーク設立、センター建設の説明会
2021/10/15	峡西ネットワークサービス	フードドライブスタート
2021/10/25	テレビ山梨(UTY)	フードバンクこども支援プロジェクトスタート
2021/10/15	峡西ネットワークサービス	フードバンクこども支援プロジェクトスタート
2022/02/18	山梨テレビ(YBS)	センター建設説明会
2022/03/15	山梨テレビ(YBS)	つながるロッカープロジェクト

2.広報制作物等

- ・記者発表 横看板

3.報告書等

- ・フードバンクこども支援プロジェクト 保護者アンケート調査 報告書 (2022年4月発行)
- ・フードバンクこども支援プロジェクト 子どもアンケート調査 報告書 (2022年4月発行)



4. イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

8月4日 「地域の生活困窮者を支援するための」説明会

8月11日 記者会見：「乳幼児応援プロジェクト」調査報告とネットワーク設立

9月29日 ネットワーク設立とセンター建設に向けた説明会

2月18日 新山梨フードバンクセンター建設のための説明会（Zoom）

2月18日 クラウドファンディングスタート（GoodMorning）

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。

完了 整備中

2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。

全て公開した 一部未公開 未公開

→「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：調整中。2022年度中に予定。

3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。

はい いいえ

→「いいえ」を選択した場合の理由：現時点で変更なし。

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：理事会に報告している。
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input type="checkbox"/> 実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料 活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）



(左) ネットワーク参加者集合写真



(中) 初めての地域 FB4 会場での配布チラシ



(右) 配布の様子



(左) ロッカープロジェクトセッティング



(中) 取材の様子



(右) 掲載された新聞記事